

環境目標（４）地球環境保全に貢献するまちづくり

～地球環境に配慮したライフスタイルへの変換～

地球環境問題の特徴のひとつは、その原因が先進諸国だけでなく地球全域に広がる多発生源分散型です。各国・各地域が発生源対策に根気よく取り組み、環境の保全・改善に向けた努力を続けていく以外、解決の道はありません。

こうしたことから、行政・事業者・市民がともに地球環境の保全に取り組み、地球のことを考えて暮らすまちづくりを進めます。

～現況～

環境学習

親と子の走る環境教室（環境課）

親と子の「走る環境教室」は、夏休み中の市内の小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、マイクロバスなどを使って、市内外のリサイクル工場や環境関連施設の見学や勉強会を通じ、環境問題に対して理解を深め、その対策について親子で考えるものです。

【親と子の走る環境教室の開催状況】

年度	見学先
H13	県下水道科学館（平和町）自然共生研究センター（岐阜県川島町）
H14	王子製紙株式会社春日井工場（春日井市）愛知県環境調査センター（名古屋市）
H15	トヨタ「里山学習館エコの森ハウス」（豊田市）
H16	愛知県下水道科学館（平和町）愛知県環境調査センター（名古屋市）
H17	川売・梅の里、四谷・千枚田（旧鳳来町）段戸・きららの森（設楽町）
H18	でんきの科学館、エコパルなごや（名古屋市）

環境活動につながる学習会（環境課）

人と人とのつながり、団体と団体の協働など環境活動における市民の役割の大切さを考え、これからの環境の取り組みを一步一步確実に進めるための学習会です。

【環境活動につながる学習会の開催状況】

回数	テーマ
第1回	環境活動と市民力・人間力（平成18年1月20日） 講師 谷岡郁子氏（中京女子大学学長）
第2回	環境に配慮した魅力ある地域づくりをになう市民力（平成18年3月18日） 講師 吉本哲郎氏（熊本県水俣市役所）

みんなで作る博物館（文化課）

鳳来寺山自然科学博物館友の会会員や市内の小・中学生が日ごろの活動の成果を発表し、活動に関する情報交換の場として博物館の一角を使い、準備から展示まで市民の手づくりの博物館「みんなで作る博物館」事業を行っています。



環境美化活動

しんしろクリーンフェスタ（環境課・土木課）

本市では、旧新城市が毎年6月の環境月間に合わせて開催していた「新城クリーンハート・クリーンシティ作戦」と国土交通省が10月に行う「川と海のクリーン大作戦」をひとつの環境美化活動として捉え、不法投棄をなくし、散乱ごみのない美しいまちづくりを進めるとともに、市全体の環境保全に対する意識の高揚を図るため、市民・事業所・行政が協働で行う大規模な清掃活動「しんしろクリーンフェスタ」を実施しています。

この名称は、公募によるもので、本来ならお役的な活動を住民自らが率先して行動する「お祭り」のような行事として定着させていきたいという思いが込められています。



桜淵公園 笠岩橋



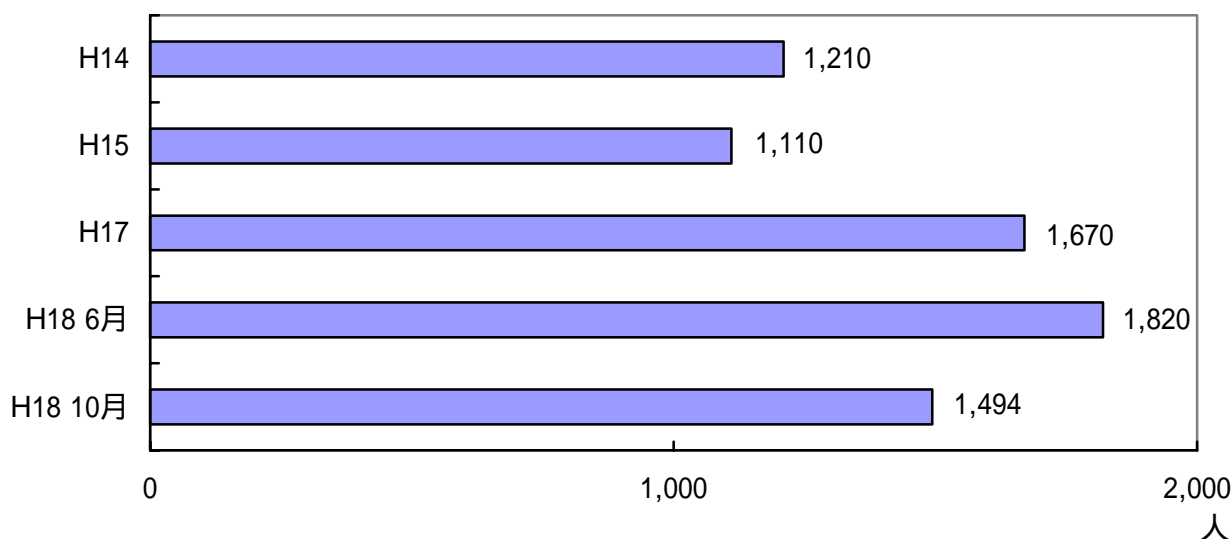
豊川右岸（豊島地内）

【実施状況】

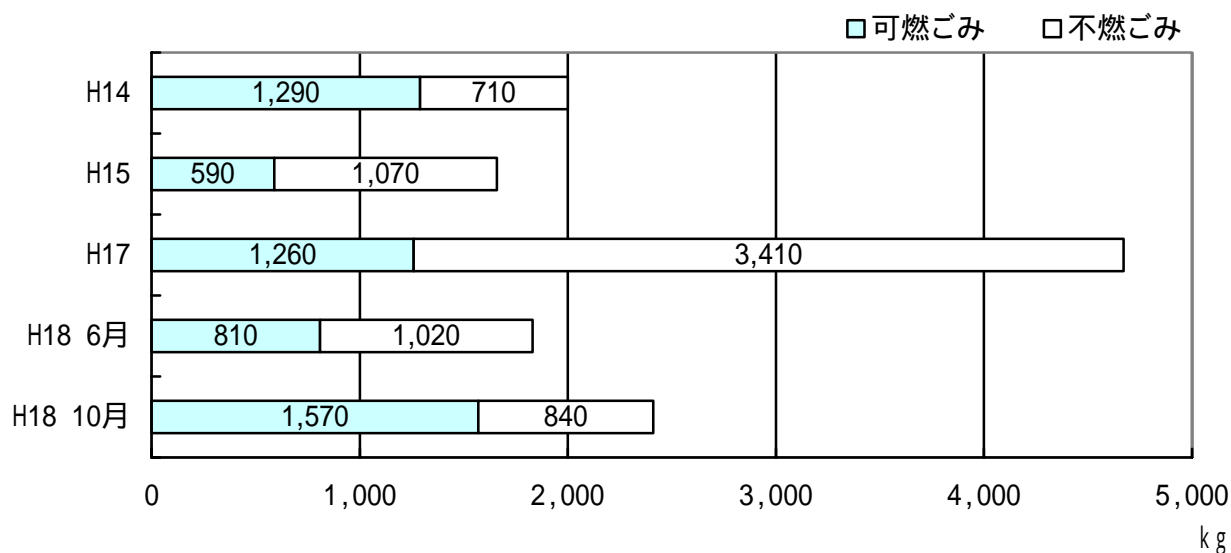
年度	実施場所
H14	桜淵公園及び周辺道路、県営新城総合公園周辺、豊川右岸・牟呂松原頭首工付近、東名高速道路下から静岡県境
H15	桜淵公園及び周辺道路、県営新城総合公園周辺、豊川右岸・牟呂松原頭首工付近、東名高速道路下から静岡県境
H17	桜淵公園及び周辺道路、県営新城総合公園周辺、豊川右岸・牟呂松原頭首工付近、東名高速道路下から静岡県境
H18	6月 桜淵公園及び周辺道路、豊川右岸・牟呂松原頭首工付近、国道301号東名高速下付近、長篠城址付近、山びこの丘周辺、菅守小学校周辺、開成小学校周辺
	10月 桜淵公園及び周辺道路、豊川右岸・牟呂松原頭首工付近、国道301号周辺、湯谷園地周辺、鳳来寺山周辺、巴小学校周辺、協和小学校周辺

平成16年度は雨天のため中止。

【参加人数の推移】



【ごみ回収量内訳】



- コラム - 新城市を味わう

猪鍋

奥三河の冬の味覚といえど何と言っても「猪鍋」です。この時期の猪の肉は、冬に備えてたっぷり脂を蓄えており、匂いもなく、やわらかくおいしくいただけます。

湯谷温泉では、奥三河で捕れた猪だけを使い、赤味噌をベースにした味付けを基本とした、猪鍋を味わうことができます。各旅館でそれぞれの特徴があります。



ハヤシライス

作手地区特産品の「桃太郎トマト」をじっくりコトコト手間ひまかけて作り上げた母の味と、ご飯は、購入することが難しいまぼろしのお米作手高原の「ミネアサヒ」を使用したぜいたくな一品です。

是非一度、つくで手作り村の手作りハヤシライスを味わってみてください。

桃太郎トマト

トマトの王様桃太郎は完熟トマトです。朝晩の寒暖差の大きい作手地区特産の、味のしっかりしたトマトです。

生産者のみなさんは、安全・安心して味わっていただくため、JA愛知東作手トマト部会として、環境管理の国際規格ISO14001を認証取得し、徹底した管理により、おいしいトマトを栽培しています。



ミネアサヒ

作手高原の主要農産物です。標高500メートルの澄んだ空気と清らかな水で育まれた良質なお米です。

ミネアサヒは、現在、他県ではほとんど栽培されていません。愛知県内でも生産量は少なく、三河地域以外ではほとんど流通していないため、「まぼろしのお米」とも呼ばれています。



～ 施策実施状況 ～

キーワード 環境を思いやるまち

施策の目標 環境に関する生涯学習の推進

教育のなかに環境問題を積極的に取り込むとともに、子どもから高齢者に至るまで環境に親しみ考える仕組みづくりを行い、生涯学習を推進します。

施策項目 子供の頃からの環境体験教育の推進

事業名	区分	担当課	評価
親と子の走る環境教室	継続	環境課	

取り組み内容

平成 18 年度は、「環境にやさしい行動へのきっかけを楽しく学ぶ」をテーマとして、日常生活において身近な電気などのエネルギーのしくみを楽しく学び、地球温暖化とのつながりを考えるため「でんきの科学館」「エコパルなごや」を見学しました。

開催日
平成 18 年 8 月 20 日 (日) 子供 11 名 大人 8 名
平成 18 年 8 月 26 日 (土) 子供 12 名 大人 9 名



課題・問題点等	参加人数が年々減少傾向にある。
今後の展開	継続して開催していく。(見学先等は未定) アンケートの回答を参考に、多くの方が楽しく参加できるよう企画。

施策項目 子供の頃からの環境活動参加の促進

事業名	区分	担当課	評価
水生生物調査	追加	環境課	

取り組み内容

毎年、市内小中学校の生徒や行政区と一緒に学校付近を流れる河川の調査活動を行っています。ほぼ毎年、同じ地点の水生生物の調査をしますが、水質の状況を把握するとともに、地域の自然とふれあうことのできる良い機会となっています。また、地元の水生生物調査を実施することにより、地元の川を自分たちで守ろうという意識の高揚にもつながります。

【水生生物調査実施の状況】(平成 18 年度)

学校・団体名	河川名	実施日	参加人数
新城小学校	一級河川 豊川	7 月 4 日	90 名
東郷東小学校	準用河川 五反田川	6 月 19 日	49 名
舟着小学校	一級河川 大入川	6 月 20 日	14 名
八名小学校	一級河川 宇利川	7 月 10 日	25 名
庭野小学校	準用河川 原川	7 月 3 日	10 名
鳳来中部小学校	普通河川 道目基川	8 月 21 日	22 名
東陽小学校	準用河川 真立川	7 月 14 日	25 名
山吉田小学校	一級河川 黄柳川	7 月 10 日	12 名
海老小学校	砂防河川 谷川	7 月 11 日	14 名
菅守小学校	一級河川 矢作川水系 菅沼川	7 月 6 日	6 名
協和小学校	一級河川 巴川	6 月 28 日	12 名

施策の目標 環境学習・活動の拠点づくり

環境に関する各種講座・研修・イベントなどの開催を通じて環境学習の普及啓発を図るとともに、活動拠点となる場の確保とその支援体制を整えます。

施策項目 環境に関する各種講座・研修・イベントなどの開催

事業名	区分	担当課	評価
環境活動につながる学習会	継続	環境課	

課題・問題点 2年間にわたり、同じ講師を依頼している。

施策の展開 継続して開催していく。(講師は未定)
様々な目線・知識・経験などから学習できる機会としたい。

取り組み内容

平成 18 年度は、具体的な取り組みの紹介を中心とした学習会を開催しました。

【環境につながる学習会実施状況】(平成 18 年度)

- 第 1 回 あなたもちょっぴりエコロジー(2月24日)
「高島町の省エネキャンペーン」
山形県高島町環境対策室環境推進主査 村上奈美子氏
「楽しんで得して豊かに暮らそう」
山形県高島町環境アドバイザー 橋本聡氏



- 第 2 回 環境首都に見る持続可能な社会づくり(3月10日)
～ドイツの環境首都における市民生活～
NPO法人環境市民代表理事 枚本育生氏

新たな課題 今後の展開 身近な実践活動を基にした学習会となり、環境首都コンテストへの参加から始まる他の自治体、NPO との交流へとつながる取り組みとして今後も継続する。

事業名	区分	担当課	評価
市民環境講座	継続	環境課	

課題・問題点 講座参加者人数の減少。講座テーマの固定化。

施策の展開 講座開催案内の市民PR方法を検討し、より多くの方に参加してもらえよう工夫していく。

取り組み内容

生態系調査事業の一環として、より多くの市民のみなさんに野生動植物に興味をもっていただき、身の回りの自然環境を見つめ直す機会として、市民環境講座を開催しています。

講師は、新城市生態系調査検討会委員の方をお願いしています。

【市民環境講座実施状況】(平成 18 年度)

回数	テーマ	実施日	講師
第 1 回	昆虫から見たしんしろの自然	11月23日	長谷川 道明
第 2 回	新城市の地下資源と中央構造線	12月9日	横山 良哲
第 3 回	鳳来寺山自然科学博物館とその活動	1月27日	加藤 貞亨
第 4 回	しんしろの里山 - 里の鳥	2月10日	皿井 信
第 5 回	あふれさせる<治水> - 見直される霞提	2月17日	藤田 佳久
第 6 回	いこいの森の春の植物	3月17日	石川 静雄

新たな課題 今後の展開 鳳来寺山自然科学博物館が行う野外学習会や子ども自然講座等の開催との連携を図り、広く市民にPRしながら多くの市民の参加を促す。

事業名		区分	担当課	評価
環境ポスターコンクール		追加	環境課	
取り組み内容				
<p>本市では、環境美化やごみの減量とリサイクル意識の高揚を高め、環境問題への関心を促すため、環境ポスターコンクールを行っています。夏休みに合わせ、市内小学4年生を対象に作品を募集します。</p> <p>平成18年度応募点数 151点 入賞 金賞 2名 銀賞 3名 銅賞 5名 入選 10名</p> <p>平成18年度金賞作品</p>				
課題・問題点等	小学4年生のみと限定した取り組みであるため、広く市民にもこうした取り組みを広げた方がよい。			
施策の展開	環境意識高揚のため、継続して行う。応募促進のためのPRを行う。ポスターだけでなく、市民向けの取り組みを行う。			
事業名		区分	担当課	評価
キャンドルナイト・イベント		新規	環境課	
取り組み内容				
<p>しんしるクリーンフェスタ第2部として、清掃活動(第1部)の会場にもなった自然豊かな桜淵公園でキャンドルを灯し、電気等のエネルギーを使わずにゆっくりとした夜を楽しむことで、省エネルギーなどに対する考えを深めていただく「きっかけ」となればと考え、開催しました。</p> <p>【ペットボトルキャンドル】 キャンドルは、清掃活動で回収したペットボトルや雨水利用、職員の自宅等でいらなくなったろうそくを再利用した手作りのエコキャンドル約1,500個です。 地元の保育園(中央保育園、城北保育園)の園児によるペットボトルキャンドルも作品として並べられました。</p>				
				
		<p>【ミニコンサート】 木かげプラザでは、「バルネロ・ムジーク・コンソート」によるリコーダーアンサンブルが行われました。桜淵公園内の枯れかけた桜木から何年もかけて作られたリコーダーが、その故郷で味わいのあるハーモニーを奏で、ろうそくの光とともに最高の演出となりました。</p>		
このほかにも「しんしる環境あいうえお会議」や高校生のみなさんにもご協力いただきました。				
課題・問題点	これからの温暖化対策につながるよう、多くの市民が参加できるようなしくみの構築が必要。			
施策の展開	企画段階から多くの市民・事業所が参加できる実行委員会方式により、取り組みを進める。			

施策の目標 活動グループの育成

指導者の育成をはじめ地域コミュニティなどの活動グループづくりを促進するため、市民や企業の参加を積極的に支援します。

施策項目 指導者の育成

事業名	区分	担当課	評価
消費生活リーダー養成講座	新規	環境課	

取り組み内容

消費生活から環境に配慮した取り組みを市全体で進めていくため、その中心的役割を担うリーダーを育成する連続講座を開催しました。

【消費生活リーダー養成講座実施状況】(平成 18 年度)

回数	テーマ	実施日
第 1 回	環境に配慮した消費生活の基本と具体的推進策及びその普及啓発	8 月 18 日
第 2 回	消費生活に伴うごみ問題・食の安全・安心	9 月 21 日
第 3 回	プラスチック製の日常生活用品の問題、有機循環農業の考え方・生き方	10 月 19 日
第 4 回	有機循環農業の現地に学ぶ(中宇利区・福津農園)	11 月 16 日
第 5 回	環境と健康のためのものえらび・店えらび	12 月 21 日
第 6 回	環境と健康のためのものえらび・店えらび	1 月 18 日

課題・問題点等	参加者が少なかった。他の事業との日程や講師等との調整がうまく進まなかった。
施策の展開	多くの市民にグリーンコンシューマーについて理解してもらうため、単発講座の開催も含め、大学等との連携を図りながら進めていく。

施策の目標 地球市民としての行動

地球規模の環境問題に関する情報提供に努めるとともに本市から発生する環境負荷の軽減対策を市民とともに実施します。また、環境保全面の国際交流を県や近隣自治体との連携を図りながら地球規模の取り組みへと導きます。

施策項目 NPOによる環境改善活動の活発化と交流の促進

事業名	区分	担当課	評価
森と人をそだてる森林総合産業創出プロジェクト	新規	森林政策課	

取り組み内容

山村の過疎・高齢化やそれに伴う林業従事者の不足、非採算性により産業として成り立ちにくい森林関連業を取りまく状況を背景として、放置・荒廃している森林を対象に、これまでとは異なる多様な角度から森との「かわり」を創出し、新たな日本の森づくりを進めるための具体的な活動を行う「森と人をそだてる森林総合産業創出プロジェクト」が、平成 18 年 11 月 16 日、地域再生計画として認定されました。

市内の森林 NPO の活動を中心に、森林に関する基礎知識の学習や間伐・枝打ち・下草刈りなどはもとより、森林ボランティアリーダーを養成するための講座やシンポジウム等を開催するなど、森づくりと人材育成のしくみを構築します。



課題・問題点等	積極的な市民参加の拡大
施策の展開	活動内容を広く市民等にPRしながら展開していく。

施策項目		市民・事業者参加の手法・仕組みづくり								
事業名		区分	担当課	評価						
チーム・マイナス6%しんしろ		新規	環境課							
取り組み内容										
<p>新城市民が一つのチームとなり、温暖化の防止施策を無理なく、楽しく、できる限り大きな成果を挙げることを目的として「チーム・マイナス6% しんしろ」を結成しました。</p> <p>そして、今までの便利な生活から脱皮するという想いをもち、まずは無理なくできることからはじめようと、市長自らが「チーム・マイナス6%」の6つのアクションに取り組むことを宣言し、市民や職員に率先行動を呼びかける「キャストオフ宣言」を行いました。</p>										
<p>「チーム・マイナス6%」って何するの？</p> <p>CO2削減のために、具体的な「6つのアクション」を提案しています。チーム全員が、日々のちょっとした気遣いを積み重ねれば、確実に大きな削減効果が期待できます。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 温度調節で減らそう</td> <td style="width: 50%;">4. 商品の選び方で減らそう</td> </tr> <tr> <td>2. 水道の使い方で減らそう</td> <td>5. 買い物とごみ袋で減らそう</td> </tr> <tr> <td>3. 自動車の使い方で減らそう</td> <td>6. 電気の使い方で減らそう</td> </tr> </table>					1. 温度調節で減らそう	4. 商品の選び方で減らそう	2. 水道の使い方で減らそう	5. 買い物とごみ袋で減らそう	3. 自動車の使い方で減らそう	6. 電気の使い方で減らそう
1. 温度調節で減らそう	4. 商品の選び方で減らそう									
2. 水道の使い方で減らそう	5. 買い物とごみ袋で減らそう									
3. 自動車の使い方で減らそう	6. 電気の使い方で減らそう									
【チーム・マイナス6%しんしろの活動状況】										
月 日	活動の内容									
9月1日	チーム・マイナス6%しんしろ事務局設置。									
9月5日～7日	職員（本庁・総合支所）の登庁時間帯に温暖化防止のチラシを配布。									
9月15日	キャストオフ＝「脱ぎ捨てる」「投げ捨てる」という意味で、ことです。									
11月8日～	チーム員登録した職員への温暖化に関する情報提供「マイ6通信」配信開始。									
11月16日	女性人材育成講座（16名）において「チーム・マイナス6%」について説明。									
11月18日	エコドライブラリー「奥三河“味・走”選手権！」に参加 ・スーパードライバーとしてエコドライブのPRと実践しながらの看板回収。									
課題・問題点等	市民等に対し省エネやごみ減量などの具体的な行動を呼びかけるため、まずは職員の温暖化に対する正しい知識に基づく率先行動を促すことが必要。									
施策の展開	から市民に取り組みを広げるため、自主参加を基本とした勉強会を進め、温暖化に対する理解を深めるとともに、チーム・マイナス6%を推進する。同時に市民・事業所・行政との協働の取り組みにつながるよう、事業所、市民団体等への温暖化説明会も開催していく。また、様々な実践やイベントへの参加を通じて、広く市民にも具体的な温暖化対策をPRしていく。									